

2016年3月期 決算説明会資料

**2016年5月16日
株式会社コンテック**

1. 2016年3月期 業績(連結)
2. 2017年3月期 通期予想(連結)
3. 基本方針
4. 中期経営計画の進捗

1. 2016年3月期 業績(連結)

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	増減額
売上高	22,519	24,069	1,550
営業利益	745	684	△61
経常利益	774	668	△106
親会社株主に帰属する 当期純利益	845	589	△256

1株当たり 当期純利益	128.07円	89.26円	△38.81円
----------------	---------	--------	---------

1-1. 製品別の業績 前期比較

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	増減額
産業用コンピュータ製品	8,066	9,399	1,333
計測制御製品	3,250	3,165	△85
ネットワーク製品	845	754	△91
ソリューション製品	2,947	2,661	△286
電子機器製品	15,109	15,981	872
EMS製品	7,410	8,088	678
合 計	22,519	24,069	1,550

2. 2017年3月期 通期業績予想(連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	増減額
売上高	24,069	24,000	△69
営業利益	684	800	116
経常利益	668	770	102
親会社株主に帰属する 当期純利益	589	450	△139

1株当たり 当期純利益	89.26円	68.19円	△21.07円
----------------	--------	--------	---------

3. 2017年3月期の基本方針

次の3項目を基本方針とする。

特に従来のハード志向からソリューション志向のビジネスに事業構造の変換を図る。
それにより、高収益体質の実現と事業拡大を図り、更なる成長を目指す。

(1) グローバル販売の強化

- ①人材育成
- ②欧米・中国市場の販売強化
- ③国内シェアの向上

(2) 製品開発の強化

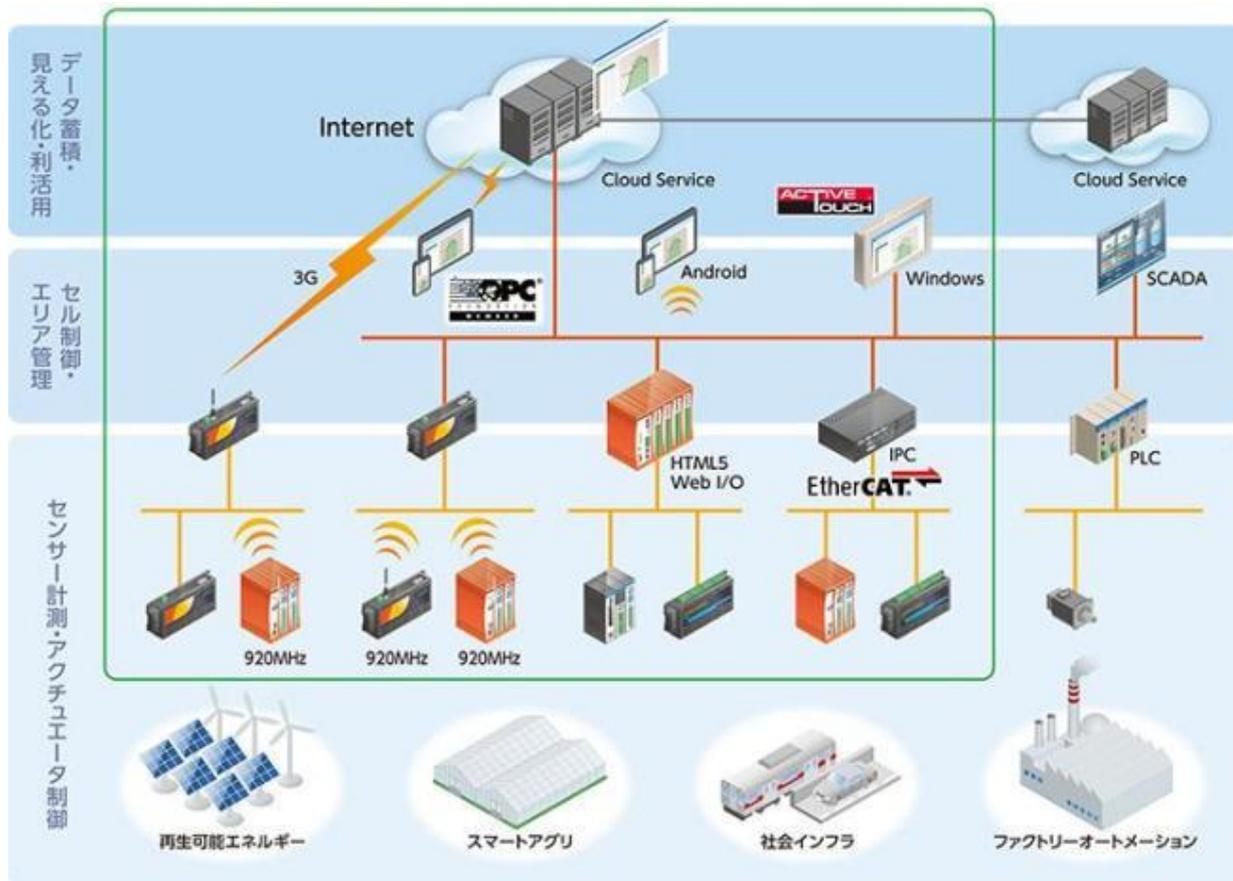
- ①経営資源の積極的投入
- ②新商品の開発（CONPROSYS他）
- ③ソフト力の強化

(3) 事業の構造改革

- ①生・技・販一体運営の強化
- ②部門独立採算の徹底
- ③事業の製品力とコスト競争力の強化

3-2. 製品開発の強化

- IoT市場向け製品「CONPROSYS」の開発及びソフト力を強化するため、経営資源を積極的に投入する。



【CONPROSYS開発計画】

41期
26製品
開発

42期
24製品
開発

合計
50製品

コンパクトタイプ



スタックタイプ



3-3. 事業の構造改革

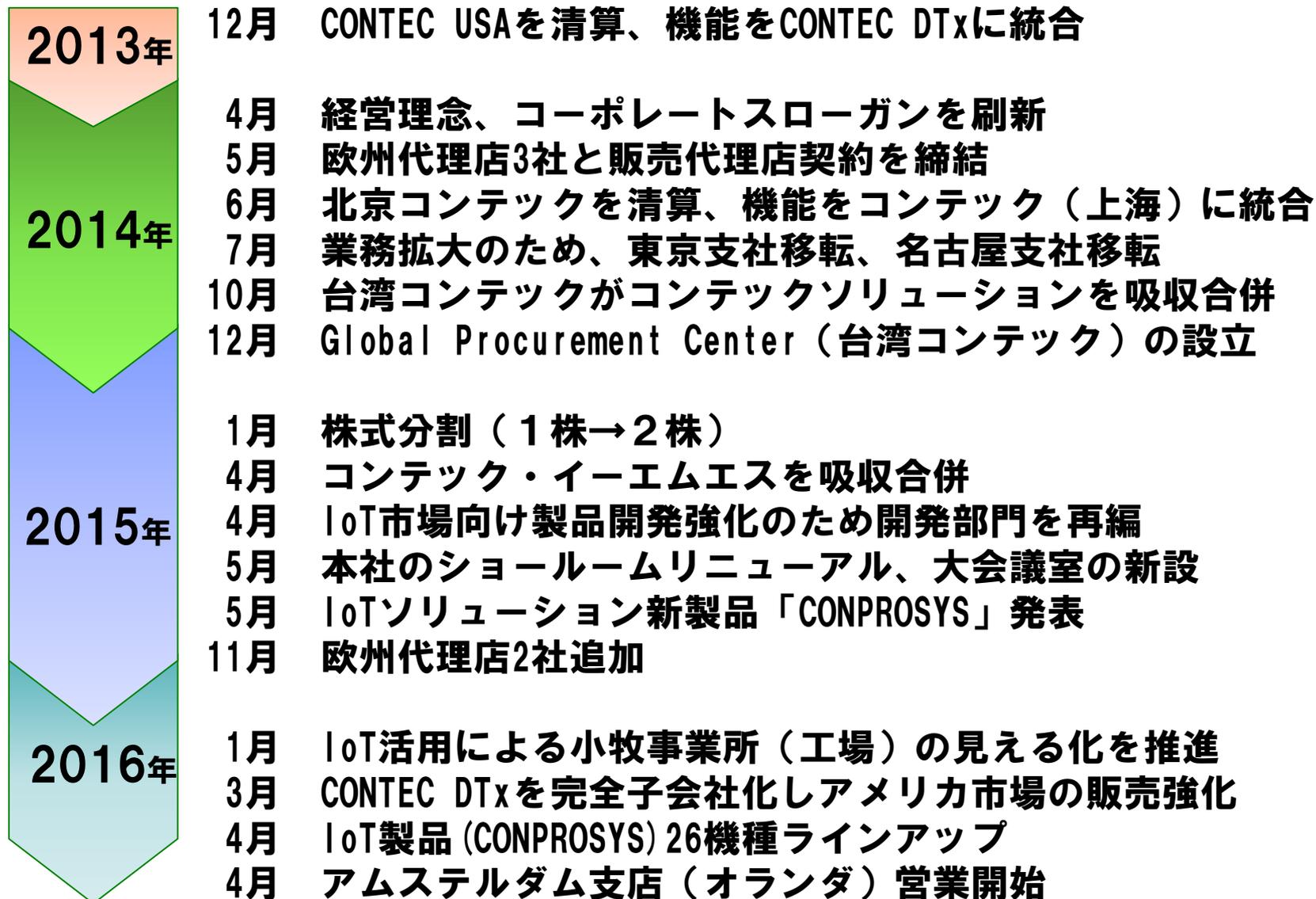
● 利益を生む工場の構築

- 協業パートナーとの共同調達で、コストダウンを推進する。
- 原価低減目標を設定し、コスト削減を目指す。
- 製品の試作・量産コスト評価を行い、コストダウンを実現する。

● IoT工場でイノベーションを実現

- 生産情報をリアルタイムで監視し、効率的な生産を実現する。
- CONPROSYSを活用し、労働生産性向上を目指す。
- IoTのモデル工場を活用し、製品の販売促進につなげる。

4. 中期経営計画施策の進捗状況



この資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。それらの計画や見通しなどは、現在当社が入手可能な情報を元に計画、予測したものです。実際の業績などは、様々な条件の変化により異なった結果となることがあり、この資料は、それら計画や見通しなどの実現を保証したものではありません。

株式会社コンテック